

宮城 社会

## 思い出の校舎残して 石巻・大川小卒業生、訴え

東日本大震災の津波で児童と教職員計84人が犠牲になった石巻市大川小の校舎について、保存を求める卒業生6人が6日、東京都内であった子どもの権利条約批准20周年記念集会で意見を発表した。「悲劇を風化させてはいけない」「思い出が詰まった校舎を壊さないで」。卒業生はそれぞれの思いを訴えた。

6人は震災当時5年～中学2年で、現在は中学3年～高校3年。被災校舎については震災遺構として保存を求める声が上がると同時に、「見るのがつらい」などの理由で解体を望む声もある。

6人は約1年間、仙台市の団体「ここねっと発達支援センター緊急子どもサポートチーム」の支援を受け、自分たちの思いを話し合ってきた。

5年だった妹が犠牲になった高校2年紫桃朋佳さん(16)は「生き残った私たちが大川小での思い出や起きたことを伝えていくことが大切」と言う。「そのために校舎を残す必要がある。あの校舎を見て、地震や津波の恐ろしさを感じてほしい」と話した。

6年だった妹を失った高校3年佐藤そのみさん(18)は「解体を望む気持ちは分かる」とした上で、「校舎にはつらい記憶だけでなく、残された子たちや私たち卒業生、犠牲になった74人の子の夢と思い出が詰まっている」。行くたびに「今を大事に生きなさい」と奮い立たせてくれる気がするという。

中学3年只野哲也君(15)は、3年だった妹と母、祖父を亡くし、自身も津波に巻き込まれ九死に一生を得た。「助けられるはずの命がなぜ助けられなかったか、大人も一緒に考えてほしい」と呼び掛け、「校舎を残して後世に伝え、自分たちと同じ思いをする子どもがいなくなるようにしたい」と訴えた。

集会は子どもの権利のための国連NGO「DCI日本」(東京)が主催し、約70人が参加した。



大川小の被災校舎保存を求めて自身の思いや意見を語る卒業生たち

関連ページ: [宮城](#) [社会](#)

2014年12月07日 日曜日

ひとりひとりに、いい部屋を①

**2LDKで、この家賃?**

首都圏

- 東京
- 神奈川
- 埼玉
- 千葉

マイナビ賃貸 物件を探す →

新築 積水ハウスの賃貸住宅①

**シャームゼンを見逃していませんか?**

もう1回 MAST で探してみよう!